

## 塾長の独り言 NO116 H21 .2 .26

### **整理整頓**

整理整頓は2Sと言って、基本中の基本ですね。

皆さんもご存知だと思います。

……では **整理** と **整頓** ではどちらが重要だと思いますか？ ……考えてみて下さい。

昨日、私は個人事業の確定申告の整理をしていましたから、一日中自宅の机で格闘していました。そして、早めに終わったので、いつかはやらなければいけないと思っていた「本の整理整頓」を…。

結果、要らないと思われる本を段ボールに詰め、机の上や床などに山積みの本を片付けました。

改めて、感じたことは、ノウハウやテクニック関係のビジネス書は全て役立たずに廃棄処分。

まだ残しておきたい本は、哲学・思想・歴史・経営学に関する本でした。

又、読んでいない著書があるはあるは、30冊以上も…それを又選別して、本棚と身近な場所へしかし捨てることは難しいですね。

又、使うかもわからない、とあえずまだ持っておこうなどと思いがちです。

どのような判断基準で捨てるのか？そこが重要なポイントですね。

竹内日祥上人の著書「企業再構築の仕掛け」34pに、以下のように書いております。

私達は知識と情報をストックし、そのストックしたものを智慧と判断によって捨てるものを捨てます。

**捨てるとは整理する」という意味です。**

**整頓」とは置くべき処に置き直す」という意味です。**

整理しなくては整頓することはできません。

整理して捨てるだけでよければ、知識や情報があれば十分なのです。

しかし、大事なことは、整理した後の整頓です。

ところが、整理する時点で整頓する「心の用意」が必要であることに気づく人は少ないのです。

それでは知識と智慧の違いは判らないでしょう。

捨てることは、本人の意思と決断が求められます。本人の主体性が問われます。

さて、整理と整頓、どちらが重要か？ ……整頓」するために整理」するのですよね。

…つまりは、**整頓**」が目的、**整理**」その手段となります。

必要なときにすぐに取り出せるようになっている「ゴールのイメージ」…ビジョンが大事なのです。

そのビジョンのイメージが明確になった時、初めて捨てる事が出来るのです。

私の本棚にはカテゴリー別（東洋思想・経営学・歴史・ビジネス戦略など）に整理されています。

又、手元と脇机の上には、テキストに使用している著書や読みたい本などが傍にあります。

### **<コメント>**

捨てるには主体性が問われる。本人の覚悟、決意が必要なんですね。

そして最終的にどうなりたいかというゴールのイメージが明確になれば、なかなか決断できない。

一番、捨てるが必要なものは、ノウハウやテクニック、ブーム関連など。

しかし、いつかは使えるだろうと後生大事に取っておいても…リサイクル出来ない。

**智慧」とは、捨てることです。整理」することです。**

**重要かどうかというある価値観のもとに判断する基準をもっていないと、捨てることはできません。**